

立春から 88 日目にあたる「八十八夜」は 5 月の季語です。「米」という字を分解すると「八十八」になるため八十八夜は豊作を願う縁起の日とされていますが、この日に新茶を飲むと長寿になれるという噂もあります。新茶一杯で不老不死になれたら安いものですが、まずは新茶を飲んで 5 月の眠気を吹き飛ばしましょうか。

## 知っここ! 「税」のマメ知識

### 今月のマメ知識：【定額減税と給付付き税額控除はどう違う？】

「定額減税」と「給付付き税額控除」は、どちらも家計負担を軽減する仕組みですが、その性格は大きく異なります。2024年に実施された定額減税は、1回限りの「物価高対策」としての性格が強い制度です。それ



は納税額から一定額を差し引き、引ききれない分を「調整給付金」として補う仕組みでしたが、あくまで減税がメインで、給付はそれを補完する一時的な措置でした。一方、議論が進んでいる給付付き税額控除は「減税」と「給付」をひとつのシステムとして統合した「恒久的な所得支援策」です。税額が控除額を下回る場合でも、その差額が自動的に給付されるため、低所得層や子育て世帯にも継続的かつ確実に支援が届く仕組みです。また多くの国では、働けば働くほど支援額が手厚くなる設計が採用されており、就労意欲を高める効果も期待されています。なお日本での導入にあたっては、自営業者などの正確な所得把握や、安定した財源の確保、マイナンバーの活用方法などが重要な論点となっています。

## 意外に知らない 暦の話

6月11日は「雨漏り点検の日」。この日が暦の上で梅雨入りを意味する雑節「入梅」にあたる年が多いことから、全国雨漏り検査協会が制定しました。本格的な雨の季節を前に、とりわけ古い家屋で心配なのが雨漏りかもしれません。ただ用心しなければならないのが「屋根工事の点検商法」。国民生活センターによれば「近所で行う工事のあいさつに来た」などと言って突然やってきた業者が「屋根瓦がずれているから」と言って、点検した後に「このままだと雨漏りする」「瓦が飛んでご近所にも迷惑がかかる」などと不安をあおり、工事の契約を迫る手口が全国的に増えているのだとか。記念日には大雨に備えて住宅のメンテナンスを心がけたいものです。ただシラブルに巻き込まれないためにも「見知らぬ業者に安易に点検させない」「工事はすぐに契約しない」「不安を感じたら消費生活センターへ相談」を忘れずに、信頼のおける専門業者をお願いするようにしましょう！

## 気軽に Let's 英会話

### 今月のキーワード：【alert】

5月から防災気象情報が変わり、警報に「警戒レベル」が付記されます。一目で分かる表示はいいですね。「気象警報」は“weather alert”です。「ウエザー」も「アラート」も日本語で見聞きする言葉ですね。“alert”は形容詞では「油断のない・注意を払う・機敏な」などの意味があり、“An alert guard stopped the robbers.”は「警戒していた警備員が強盗を止めた」、「Stay alert when you drive!」「運転中は注意して!」、「He's an alert baby!」「敏感な赤ちゃんだ!」のように使います。

ゆで卵やチーズ、よく熟れたアボカド、ケーキなど包丁で切ると潰れてしまうものは、ピンと張った裁縫糸で上から一気に押し切ってみてください。断面が驚くほど美しく仕上がります。フルーツサンドで萌え断（映える断面）を作りたいときにも重宝します。

知得する 知恵袋

# ま 振り向けば あそこにも ここにも 商売のヒント

## 今月の商売のヒント：【どこを削るか。何を残すか】

ベテランの木工職人が弟子に言ったそうです。「一流の仕事は、どこを削るかに出る」。

これは商売にも似たような側面があります。新しい事業、新しいサービス、新しい人材など、経営者であれば「足す」ことへの嗅覚は自然と磨かれていきます。

成長への欲は経営者の本能のようなものです。同業他社が新しいことを始めたと聞けば気になるし、取引先に新商品をすすめられれば断りづらく、気づけば手を広げすぎていた。そんなこともあるでしょう。

ところが「やめる」となると途端に足が重くなるのも事実です。長年続けてきた事業、古くからのお客さま、なじみの取引先、共に苦勞してきた社員がいる部門部署。そこには決して数字だけでは測れない歴史があります。「やめる」という判断は、その歴史ごと否定するような罪悪感を伴い、だからこそ多くの経営者は薄々気づきながらも決断を先送りにしてしまうのです。

しかし、それは弱さではなく、むしろ誠実さの表れだと思います。ただ、誠実さと執着は、ときに見分けがつかせません。続けることが「責任」なのか、それとも「慣性」なのか。その境界線は外からは見えづらく、自分でも気づきにくいものです。

「これは誰のために続けているのか？」そう自問したとき答えがすっと出てこないなら、それは「何かを削る」引き算のサインかもしれません。どこを削るか。何を残すか。余分を削り落とすことで作品の完成度を際立たせる木工職人ように、商売もまた、やめる決断の先に会社の本当の姿が浮かび上がることがあるかもしれません。

削った先に何が残るか。何を残したいか。その問いが次の一手でしょう。



## 今月のいろいろ「掲示板」

### 【スタッフブログ】

近年、毎年のように記録的な暑さとなっていますが、今年の夏も地球温暖化や偏西風の蛇行などの影響により記録的な猛暑となるおそれがあるそうです。

今年はすでに4月から30℃以上の地点がでるなど、季節先取りの暑さになっています。

全国の酷暑日地点数が年間で過去最高となった昨年ほどの多さではないものの、近年の記録的な高温に次ぐレベルの暑さになる可能性があり、今年も暑さへの対策が重要になりそうです。

### 杉山会計事務所

〒731-0122

広島市安佐南区中筋 2-5-25-201

電話：082-877-4218

FAX：082-877-4219

<http://www.sugiyama-kaikai.jp>

mail：office@sugiyama-kaikai.jp

